

国語科と理科（生物）の合科学習指導案

－「徒然草」の時間観への合科的・探究的なアプローチ－

授業者：高柳博充・西橋輝・山崎巧

- 1 実施日時・場所：令和6年2月20日7限目 中学校二階特別教室
- 2 実施科目：国語科・理科
- 3 学年・クラス：高校1年C組
- 4 単元名：「徒然草」の時間観への合科的・探究的なアプローチ
- 5 教材：「徒然草」第七段・生物学資料
- 6 本時の目標：「徒然草」によって吉田兼好が何を伝えようとしていたかを知り、今の自分の生き方に生かすことができる。
- 7 学習指導計画
 - ①予備授業を中学校3年生で行う。
 - ②高校1年C組で徒然草の基礎知識を事前に教える。
- 8 本時のねらい：①徒然草に一貫する「人間の生きる時間や生き方」の考え方を理解する。
②現代生物学での「人間の生きる時間や生き方」の考え方との関連性を理解する。
③「人間の生きる時間」について、自分の考えをまとめる。
- 9 学習の流れ（展開）

学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
1. 本時の目標を確認する。(1分)	完全・不完全を求める考え方について、話して導入とする。	
2. 鎌倉時代と「徒然草」の基礎知識の確認する。(1分)	ワークシートⅠ 空所補充をする。	一定の知識を持っているか。 机間巡視。
3. 「徒然草」七段前半を読み解く。(15分)	ワークシートⅠで読み解く。	文脈の理解ができているか。 観察法
※「かげろう」の解説	比喩の内実について理科教諭が解説する。PP活用。	比喩を理解できているか。 観察法
5. 「徒然草」における「生きる時間」の考え方を理解する。(10分)	ワークシートⅡで説明する。 生徒は空所補充していく。	吉田兼好の考え方を理解できているか。 観察法
6. 現代生物学の生きる時間の考え方を理解する。(5分)	理科教諭がPPにより解説する。 徒然草との関連について、理解する。	古典と現代生物学の考え方について理解しているか。 観察法

<p>7. 時間に関する自分の考え方をまとめる。 (10分)</p>	<p>ワークシートⅢで自分の考え方をまとめる。</p>	<p>徒然草の時間の考え方について理解して、自分の考えをまとめているか。記述</p>
<p>8.まとめたことを発表する。相互評価する。 (5分)</p>	<p>発表と相互評価する。相互評価票を活用する。</p>	<p>学習のねらいに応じて、適切な評価ができているか。記述</p>
<p>9.教師によるまとめ。 (1分)</p>		

10, 評価規準

- ① 徒然草七段の文脈を理解できているか。【知識・技能】
- ② 吉田兼好の「人間の生きる時間」の考え方について理解できているか。【知識・技能】
- ③ 現代の生物学における「人間の生きる時間」の考え方との関連性を理解できているか。
【思考力・判断力】
- ④ 「人間の生きる時間」について自分の考えをまとめ、他者の発表を適切に評価できたか。
【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 「徒然草」の考え方を自分の生活に生かそうとしているか。【主体的に学習に取り組む態度】